

健康について

九州・沖縄の熱中症、感染症の特徴

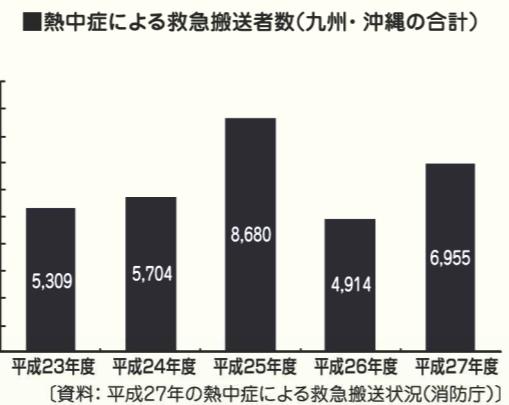
- 熱中症による救急搬送者数は、冷夏だった平成26年度を除いて、5,000人以上で推移しています。
- 九州・沖縄は、地理的に蚊が媒介する感染症であるデング熱の流行地の台湾に近い地域です。

温暖化の影響

- 21世紀末には熱ストレスによる死亡リスクが高まり、熱中症による救急搬送者数も約3倍に増加します。
- 21世紀末には九州地域の一部や沖縄地域がデング熱を媒介するネッタイシマカの生息可能域になるため、感染症のリスクが高くなります。

九州・沖縄で取り組まれている適応策の例

- 熱中症に関するチラシを作成し、各区役所・消防局・住宅供給公社等へ配布し、市民（高齢者等）へ予防啓発の取り組みを行っています。【北九州市】
- 海外から入港する船舶及び航空機により感染症を媒介する、ねずみ及び蚊等の国内侵入及び蔓延を防止するため、定期的な調査を実施しています。【福岡検疫所】【那覇検疫所】



ネッタイシマカ
(写真提供：長崎大学川田均博士)

産業・経済活動、国民生活・都市生活について

温暖化の影響

- 産業・経済活動
平均気温の上昇や極端な気象の頻度・強度の増加は、産業・経済活動に影響を及ぼすことが想定されます。
- 国民生活・都市生活
気候変動による短時間強雨や渇水の頻度、強い台風の増加等が進めば、インフラ・ライフライン等への被害、快適性の損失など都市生活に大きな影響を及ぼすことが想定されます。

九州・沖縄で取り組まれている適応策の例

- 災害時に利用可能な民間物資拠点のリストアップや、都道府県と物流事業者団体との間の輸送・保管・専門家に関する協力協定の締結を促進しています。
【九州運輸局】
- 市町村、警察、消防、保健・医療・福祉等関係団体、自治会、民間企業等の協力の下、次の熱中症対策に取り組んでいます。【熊本県】
①県ホームページ、ラジオ・テレビ等による県民への周知啓発
②県庁舎や地域振興局など県施設等での一時休憩所の提供

地球温暖化の影響のリスク評価を行った上で、社会全体や各分野の適応能力を向上する必要があります。

将来計画を立てる際に、地球温暖化の影響を考慮することで、投資の重複を避けることができるなど長期的にはコストの削減にもつながります。

地球温暖化による九州・沖縄地方への影響を知り、適応を進めるために【改訂版】 平成28年3月

発行 環境省 九州地方環境事務所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎B棟4階 TEL: 096-322-2411
編集 一般財団法人 九州環境管理協会

地球温暖化による

九州・沖縄地方への影響を知り、適応を進めるために

【改訂版】

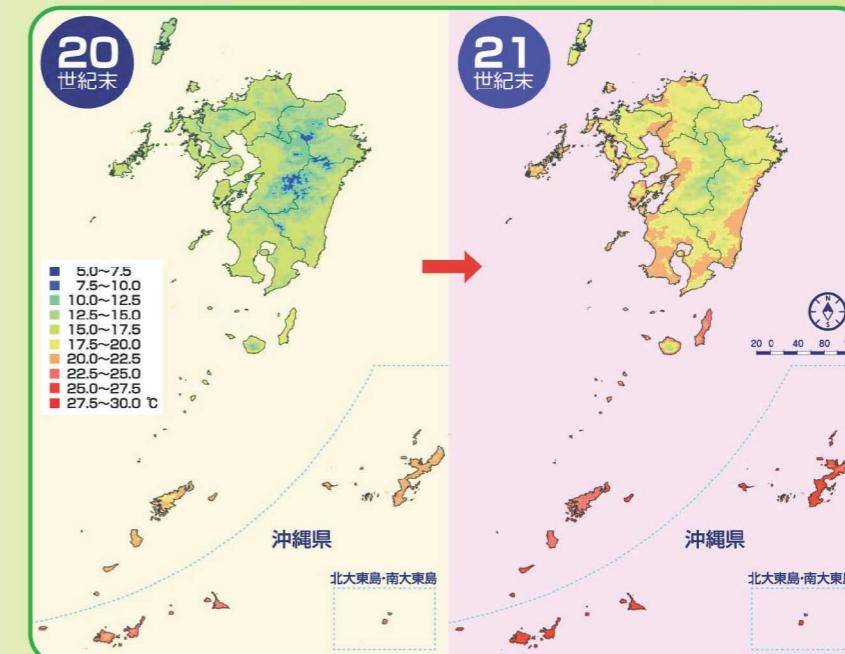
地球温暖化の影響は既に現れています。

最も厳しい温室効果ガスの削減努力を行ったとしても、今後数十年にわたり、地球温暖化の影響は避けられません。

九州・沖縄地方の地球温暖化の進行状況、将来の気候予測

最近100年間で、年平均気温は、九州・山口県で約1.68°C、沖縄で1.08°C上昇しています。現状以上の温暖化対策（緩和策）を探らなかった場合は、21世紀末は20世紀末と比べて、九州・沖縄平均で約4.2°C上昇することが予測されます。また、年降水量も増加することが予測されています。

〔出典：九州・山口県の気候変動監視レポート2014(福岡管区気象台)、沖縄の気候変動監視レポート2015(沖縄気象台)、S-8 温暖化影響・適応研究プロジェクトチーム 2014年報告書(シナリオ: RCP8.5、気候モデル: MIROC5の場合)〕



※影響評価図は、「S-8温暖化影響・適応研究プロジェクトチーム2014年報告書」（シナリオ: RCP8.5、気候モデル: MIROC5の場合）

そこで、長期的な温室効果ガスの排出削減とともに、地球温暖化への適応の取組が必要とされています。

●気候変動影響への適応とは

既に起こりつつある、あるいは起こりうる地球温暖化の影響に対して社会のあり方を調整することです。

適応策は、新たな取組を行うことだけではありません。国・地方公共団体の各種計画の中には、適応の観点が含まれているものがあり、適応策に分類できる施策・事業は、既に実施されています。これらを適応策として整理し、地域の特性に合わせて再編することは、地域づくりの観点からも重要なことです。